

令和7年度 調布市立第五中学校 学校評価報告書(案) (学校長 中谷 愛)

学校の教育目標	
「徳」思いやりと助け合う心をもとう。「知」自ら学ぶ人になろう。「体」心と体を鍛えよう。	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
目指す学校像「生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校」	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	① 「お話タイム」(水曜日朝実施) + 各学級対象道徳授業の実施 (年間)	① 五中授業スタイルに「教えて考えさせる授業」の導入 (校内研究年8回)	① 仲間意識を高める体育大会 (5月)・合唱コンクール (10月) 等の全校体制での実施
	② 週1回の学校いじめ対策委員会 (年間)	② 東京都教育委員会が指定する指導教諭の授業活用 (全教科実施)	② 健康・安全教育の充実 (熱中症予防・がん教育等)
	(2) 成果 (数値目標に対して)	(2) 成果 (数値目標に対して)	(2) 成果 (数値目標に対して)
	① 生徒アンケート「いじめはどんなことがあってもいけない」肯定的回答 98% (目標: 100%)	① 生徒アンケート「授業を通してできること、わかったことが増えている」肯定的回答 94.6% (目標: 100%)	① 生徒アンケート「学校行事は楽しく充実している」肯定的回答 95.3% (目標: 100%)
② 発生したいじめの解消率 いじめ認知後 3 か月経過時点での解消率 97% (目標: 100%)	② 生徒アンケート「意欲的に授業に取り組んでいる」肯定的回答 88.7% (目標: 100%)	② 生徒アンケート「自ら健康を保持する習慣を身に付けている」(新設) 肯定的回答 81.3% (目標: 100%)	
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>「お話タイム」は五中の教育活動の宝である。</li> <li>道徳の授業は全教職員がローテーションで指導していることで、オール五中で取り組んでいる。</li> <li>学校はいじめに対してよく取り組んではいる。迅速に対応し、複数の教員で解決していることは理解しており、評価できる。解決に引き続き取り組んで、解消できるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業・校内協議会を参観し、教員同士の活発な議論や授業をよりよくする熱意を確認した。</li> <li>保護者アンケートからも、生徒が意欲的に学ぶ様子が伝わってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五中生の行事への取り組みは伝統であり、近年 (3年間の中でも) 特によかったと思う。</li> <li>クラスを超えて仲間を応援する声や気遣う姿勢が見て取れる。</li> <li>今年度はインフルエンザの流行等あり、感染症予防対策を施す一定期間の対応があった。今後も体調管理の指導は重要である。</li> </ul>

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 CSとの協働・特別支援教育の推進	5 小中連携・ICTの推進	6 「総合」の充実・キャリア教育の推進
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	① 放課後学習教室等による個別支援・外部人材の講師による学習の機会の創出	① 第五中学校地区 (第三小・飛田給小・多摩川小・富士見台小・第五中) における小中合同の研修の実施 (定例 2回 + オンライン研修等の実施)	① 職業調べ学習、職場体験、上級学校訪問等自らの生き方や将来を考える学習の実施
	② 週1回の校内支援委員会 (年間) による生徒の学びの支援についての協議 (特別支援教室の活用等)	② ICT 活用の学習指導の研究・小学校から中学校への引継ぎ方法のシステム化の研究等 (定例 2回 + オンライン研修等の実施)	② JICA 交流授業、留学生が先生プログラムの実施 (国際理解教育の充実)
	(2) 成果 (数値目標に対して)	(2) 成果 (数値目標に対して)	(2) 成果 (数値目標に対して)
	① 全生徒 (729名) の学びの保障	① 教員アンケート「思考ツールやICTを定期的に活用し、「思考・判断・表現」の資質能力を育成することができた。」肯定的回答 94% (目標: 90%以上)	① 生徒アンケート「自分の将来を考えるきっかけとすることができましたか。」肯定的回答 91% (目標: 100%)
② 不登校出現率 12月末時点 5.47% (目標: 6%以下)		② 生徒アンケート「国際理解教育は充実していますか。」肯定的回答 86% (目標: 100%)	
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後の学習支援に加え、地域学校協働本部が中心となって今年度新規に実施した未来塾や英検 2 次対策の取り組み等、生徒の希望に応える学習機会が今年度増加した。</li> <li>特別支援コーディネータ、学習支援員と地域コーディネータの協働による取り出し授業や登校再開支援の取り組みは一定の成果を得ていた。</li> <li>不登校出現率は都の平均よりも低い結果が得られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携による中学校教員の小学校での授業実施など、素晴らしい取り組みが展開されている。</li> <li>ICT を活用した取り組みを小学校から中学校に至るまでの学びの道筋を系統立てて研究しようとする取り組みは評価できる。</li> <li>ICT 活用による新しい授業スタイルは大変だが授業内での教材など創意工夫が見て取れた。</li> <li>次年度中学校も小学校と同様に iPad に移行するので、学びが円滑になるよう小中連携を引き続き進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の将来を考えるきっかけとすることができた」生徒が 9 割を超えていてたいへんうれしい結果である。</li> <li>キャリアパスポートの活用と、本校で実施する職場体験等のキャリア教育の一環で実施する各学びを有機的に結びつけることで将来について考える力がより一層高まると考えられる。</li> <li>五中生は他校と比較して、地域の方が講師となり話を聞く機会が多くある環境があり評価できる。</li> </ul>

人材育成・組織運営

自己評価	<p>&lt;人材育成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ミニ研究授業 DAYS (一人が各学期 1 回以上の他教科の授業参観) や校内研修 (お話タイム・研究授業等) の充実</li> <li>② 指導教諭公開授業、東京教師道場、東京都研究員等東京都教育委員会研修制度の積極的活用</li> <li>③ 初任者研修、2・3 年次研修、中堅教諭等資質向上研修等悉皆研修の成果還元への工夫</li> <li>④ 昇任に係る制度の着実な周知と個々の教職員のキャリアアップ支援</li> </ul>
------	--

	<p>&lt;組織運営&gt;</p> <p>① 速やかな意思決定・伝達と全教職員による各分担の確実な業務執行（活発なコミュニケーションを通じた共通理解と効率の向上）</p> <p>② 主幹教諭を中心とした学校全体の業務遂行プロセスの見える化・持続可能な組織の構築（経営支援部による校務マニュアル化）</p> <p>③ 各分掌における主任のリーダーシップの強化（分掌内・調整委員会の会議運営の工夫）</p>
<p>学校運営協議会評価</p>	<p>&lt;人材育成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校長の人材育成計画に基づき、昇任選考に多くの教員が取り組んでおり、教職員のキャリアアップ支援が適切に図られている。また、初任者教員が研究授業を行うなど、新人への支援も職場で手厚く行われている様子が見て取れた。</li> <li>今年度、校長が先生方を大切にしている学校であると強く感じた。</li> </ul> <p>&lt;組織運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校長着任以降、短期間で教職員との関係構築を図っていた。今年度年間を通じて、校長の意をくみながら主幹教諭、主任教諭等が中心となって各担当の業務の着実な遂行を果たし、活躍している。</li> <li>校長のCSへの信頼から、毎回率直な話を共有することができた。</li> <li>今年度、人材の活用が活発化したことにより、地域学校協働本部のやる気が上がった。</li> <li>学校運営協議会での熟議を通して、学校を知る機会となり、それが今年度本校PTAを案内するチラシを作成するまでに至った。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>中期的な経営目標の達成状況</b></p>	
<p>1</p>	<p>教育目標「思いやりと助け合う心をもとう」の実現に向けた、人権教育を基盤とした教育課程の編成・実施 R7：「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」肯定的回答 98%</p>
<p>2</p>	<p>教育目標「自ら学ぶ人になろう」の実現に向けた、「教えて考えさせる授業・五中スタイル版」の確立・実施 R7：新規に導入した「教えて考えさせる授業」において各教科の優良実践例を共有</p>
<p>3</p>	<p>教育目標「心と体を鍛えよう」の実現に向けた、各種学校行事の発展・充実 R7：体育大会・合唱コンクール・学習成果発表会を実施（1年生は新規企画によりピブリオバトル実施）</p>
<p>4</p>	<p>コミュニティ・スクールとしての「地域とともに歩む学校づくり」の実現に向けた、地域を活用した人材支援の拡充 R7：昨年度比、支援者の人数の実績を拡充（特に、部活動の地域による支援では予算執行率 100%）</p>
<p>5</p>	<p>第五中学校区の小中学校間の円滑な接続による教育活動の発展・充実 R7：ICT 活用に係る9年間で育成したい資質・能力一覧表を作成・実施</p>
<p>6</p>	<p>持続可能な社会の創り手の育成に向けた総合的な学習の時間の発展・充実 R7：「生き方」「国際理解」「食育」を柱とした各学年の取り組みを計画通り実施</p>
<p>人・組</p>	<p>個々の教職員が希望するキャリア形成の実現・協働する教職員集団「チーム五中」による教育活動の推進 R7：個々の教職員の研修受講を支援、生活指導・校内支援を全教職員で組織的に対応</p>
<p style="text-align: center;"><b>次年度の重点課題</b></p>	
<p>調布市教育委員会が目指している「子供一人一人を大切にする教育の実現」に向けて、本校では、7年度に引き続き、義務教育最終段階の教育課程で、持続可能な社会の創り手を担う「人」の育成に重点を置くとともに、生徒が自分の力を最大限発揮できる環境を創り、生徒の学びを支えていく。</p>	